


お花の栽培シリーズ「ロードヒポキシス」



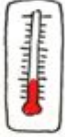


2008年2月	如月(きさらぎ)・令月(れいげつ)・梅月(むめづき)・梅見月(むめみづき)・初花月(はつはなつき)・雪消月(ゆききえつき)・仲月(ちゅうしゅん)	●春に向けての準備期間
●立春がすぎると気候にも変化が始まり、自然界には「春」がやってきます。凍っていた地面がゆるんで、土がやわらかくなるこの時期には、本格的な春に向けての準備をしましょう。		
庭木の作業	・凍っていた地面がゆるむと、穴を掘り元肥を入れて準備する。冬囲いをとる。バラやフジなどの花木では、整枝剪定の時期です。	
草花の作業	・1月に掘り起こした土に堆肥や有機配合肥料を全面にまきましよう。	

今月の誕生花	ウメ・サクラソウ・スノードロップ・フクジュソウ	
今月の花	シンビジウム 花言葉 / 博愛、孤独、裏切	
	鉢植えのシンビジウムは、水苔や砂利、樹皮などに植えられています。普通、植物の根は、空気中ではしなびてしまうものですが、シンビジウムの根は、非常に太く、空中でも平気です。実は、根そのものは 細いのですが、周囲を 海綿状の組織が 包んでいて、これが根の乾燥を防ぐと同時に、空中の水分や雨水などを吸収し、根まで届ける仕組みなのです。いくつかの原種をもとに 複雑に交雑され、たくさんの品種が 現在でも生まれています。その数は 1年間に販売されるだけでも 数百種に及ぶといわれています。切り花は国産のものが年末から晩春にかけて店頭並びますが、その他の季節は、オーストラリアやニュージーランドから 輸入されています。淡い色合いの花が多いことから、『飾らない心』という花言葉が 生まれたようです。	
	原産地はインドシナ半島アンナンの高地(東アジアを中心にインドからオセアニアまで)。ラン科シュンラン属の多年草。草丈は20~150cm。開花時期は周年。最盛期は12~5月。葉の形状は、束生、長さ50~90cm。花色は、紫紅色~白、黄、ピンクなど。英名 シンビジウム(Cymbidium)。別名 美花蘭。 空中では平気なのですが、逆に空気不足になると、この花は枯れてしまいます。	

# お花の栽培シリーズ

今月の花

ロードヒポキシス

<p>日当たり</p>  <p>日なた</p>	<p>水やり</p>  <p>ふつう</p>	<p>気温</p>  <p>15~25℃</p>	<p>草丈</p>  <p>7~10cm</p>	<p>花色</p> 
--	---	---	---	---

低めの ナチュラルな植木鉢が似合う かわいい花で、どんな場所においても 良く映えます。小さな鉢に 数球植えてもよいですが、平鉢に 各色混ぜて群植しても 楽しめます。庭に植える場合には、ロックガーデンにしたり、表土を覆うように植えるなどすると、可愛らしい演出役として活躍してくれます。一重咲きと八重咲き、大輪種と小輪種があります。

生育中は 水を切らさないように、表土が乾いたら たっぷり与えます。秋に葉が黄色くなってきたら 控えめにして、乾かし気味にします。毎年2月になったら かならず分球し、同じ大きさの鉢に、同じ大きさの球根を植えるようにします。夏は 風通しのよい半日陰に置きます。冬は 球根が傷まないように、凍らない程度の気温の 室内やベランダに置き、乾燥させないように 管理します。

ロードヒポキシスの 別名は、アッツザクラといいますが、これは この花が 日本で売り出された時期が、アッツ島で日本兵が玉砕したころだったために付けられた名前です。原産地はアッツ島とは全然関係のない南アフリカの山地です。



## ● 植えつけのやり方



鶏糞  
完熟堆肥  
植え穴は 大きめ!!

やや高めに植え、敷きワラで乾燥を防ぎます。

【花後の切り戻し】

花の下に5枚葉を2~3枚つけて、5枚葉の上の所で切る

日当たりと水はけが良い粘質土に植える

## ● 植えつけのやり方


### 【鉢植え】



3号鉢に2~3球が目安

### 【箱植え、庭植え】

植えつけは、2~3月に行う。用土は赤玉土小粒6+不要土4の割合で混ぜたもの。4cm間隔で植えつけの球根の上に1cmほど土をかぶせる。



球根の上に1cmくらい土をかぶせる!!

4cm

4cm

赤玉土小粒 腐葉土  
6 : 4

## ●分球のやり方



球根を取り出し、分球している球根を一つ一つに分ける



同じ大きさの鉢に、同じ大きさの球根を植えるようにする!!

## ●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
生育状況	休眠期		花期								休眠期		
置き場所	屋内の日陰		屋外の日当たりのよい場所 ※風通しのよい所を好む				屋外の半日陰		屋外の日当たりのよい場所		屋内の日陰		
水やり	乾燥気味にする (5~10日1回)		表土が乾いたら与える (2~3日1回)		表土が乾いたら与える (1日1回)			表土が乾いたら与える (2~3日1回)		乾燥気味にする (5~10日1回) 冬も乾燥させない!			
肥料											月に1回、薄い液肥を与える		
害虫													
作業	毎年 植えつけ												毎年 植え替え/分球